

令和6年度 生徒会活動

1 生徒会活動方針

(1) テーマ

限界突破 ～雲の上を目指して～

(2) 活動の柱と具体的な取り組み

柱1 生活・環境 ～「限界の先」に挑戦しよう～

- ①富竹ビューティフルタイム ②あいさつの木 ③挨拶レベル表

柱2 学習 ～我慢の雨を乗り越えた先に～

- ①朝の5分トーク・学習 ②学習規律の徹底

柱3 伝統・文化～「今まで通り」を突き破れ！～

- ①元気アップ活動 ②合唱 ③校則見直しクイズ

(3) ブロック活動

- ・第1回評議会で決定する予定。縦割り3クラスの2ブロックをつくる。
- ・委員会でも可能な限り、ブロックでの活動を増やしていただきたい。

2 各生徒会活動の内容について

生徒会本部の活動

事務局を中心に、年間計画の企画・運営に当たる。事務活動を行いながら、全校生徒を動かせるような取り組みや行事の企画・運営をしていく。会長・副会長・事務局長・事務局員（議長・副議長・書記・事務局次長・委員会担当・部活動担当）で構成される。福祉活動の推進と少年議会への参加もある。

委員会活動

年間を通じて、校内の当番活動や奉仕活動などにあたる。原則、毎月1回の委員会会議を開催する。事務局の委員会担当は、各委員会の活動を統括し、連絡・調整にあたる。

各委員会の主な取り組み内容（案）

生活委員会	登校時のあいさつ運動、服装頭髪自主点検など	月1委員会会議： 放課後開催
保健給食委員会	健康観察簿の作成、シャボネット等補充、牛乳庫整理など	
図書委員会	本の貸し出し当番、図書だより発行など	
環境委員会	ワックスがけ、プランターの管理、ミックスパーパー回収	
歌声委員会	学年・全校合唱の推進、合唱祭運営など	月1委員会会議：

応援委員会	壮行会、学園祭、三贈会など行事における応援	昼休み開催
放送委員会	給食時の放送企画・運営、行事前の放送企画・運営	
会誌編集委員会	生徒会誌「わかたけ」の原稿依頼、構成作業	
選挙管理委員会	生徒会役員選挙の準備、運営	

部活動について

本部としては部活動担当（小林千夏）が主となり、部長会を定期的に関き、部室、用具の管理やきまり（自転車の使い方含む）に関する統一した意識をもたせると同時に、あいさつやマナーにも取り組む。また、部員の活動（参加）状況を把握し、部活動の活発化を目指す。

学校評議会

生徒総会に次ぐ機関であり、生徒会本部役員と各クラスの会長、副会長の計2名で構成される。評議会では一か月の反省や予定の確認をするほか、行事や取り組み、課題について話し合う。

生徒総会

生徒会における最高決定機関。毎年2回開催され、生徒会活動のすべてに関して審議し、議決をとる。会則の改定についても、この会を持って審議される。なお本校では1回目は体育館において全校生徒参加で行い、2回目は事前の学級討議を受けて評議員の代表参加という形で実施される。

富竹祭

本校学園祭の名称であり、生徒会最大の行事である。例年9月に開催され、初日は文化部門として各学年発表、文化部の発表、文化部・委員会・学年の展示が行われる。2日目は体育部門としてクラス、ブロック対抗での競技が行われる。

生徒会役員選挙

次年度の生徒会本部役員の会長、男子副会長・女子副会長の計3名を、12月に生徒会員全員の選挙によって選出する。また投票に先立ち、立会演説会を開催する。

三年生に贈る会

例年3月に、次年度の本部役員を中心に、1,2年生がお世話になった3年生に対しての感謝の気持ちを込めて開催する。三贈会（さんそうかい）と称する。

3 年間活動計画

	生徒会関係行事	定例の行事	その他
4月	対面式、生徒会説明会 前期役員認証式	部総会 委員会・評議会	委員会加入・部登録
5月	3年生修学旅行 文化交流会 生徒総会	部総会 委員会・評議会	
6月	1年生校外学習 応援練習、市総体選手壮行会 市総体 富竹祭実行委員会	委員会・評議会	部活動強化期間 富竹祭取り組み開始
7月	県総体 富竹祭部門別会議	委員会・評議会	
8月		委員会・評議会	
9月	富竹祭	部総会 新旧評議会	富竹祭強化期間 後期学級役員選出
10月	後期役員認証式、応援練習 市新人戦選手壮行会、市新人戦	委員会・評議会	部活動強化期間
11月	合唱祭 第1回選挙管理委員会	委員会・評議会	合唱祭強化期間 役員選挙取り組み開始
12月	立会演説会及び投開票	委員会・評議会	
1月	三贈会実行委員会	委員会・評議会 部総会	三贈会取り組み開始
2月	生徒総会（評議会・新旧本部役員引継式） 三贈会係別実行委員会	委員会・評議会	
3月	三年生に贈る会		